

感染状況・医療提供体制の分析(3月29日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照) [詳細](#)



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (3月22日時点)	現在の数値 (3月29日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	598人 (31.9人)	649人 (34.6人)	→	感染状況コメント レベル1. 感染者数は一定程度にとどまっている 陽性者は <u>人口10万人当たり34.6人</u> と若干の増加傾向。季節性インフルエンザ注意報発令中。全国では、2か月半ぶりに増加に転じる。年度替わりによる感染リスクが高まる場面の増加、免疫の減衰、変異株の置き換わり等が今後も感染状況に影響を与える。体調不良時は外出しないといった心がけや、状況に応じた(医療機関等訪問時に感染を広げないため、重症化リスクのある方が感染から身を守るため等)マスクの適正使用が必要。
		60歳以上 (総数に占める割合)	141人 (24%)	163人 (25%)	→	
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	217人	254人	→	
		倉敷市保健所	107人	146人	→	
		備前保健所	31人	51人	→	
		備中保健所	78人	92人	→	
		備北保健所	21人	32人	→	
		真庭保健所	45人	31人	↘	
美作保健所	59人	20人	↘			
その他	40人	23人	↘			
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	59人 (9%)	35人 (6%)	↘	医療提供体制コメント レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる	
	④宿泊療養者数	4人	6人	→		
	⑤自宅療養者数	520人	599人	→	感染者数が増加するも、入院患者数は減少。医療提供体制としては落ち着いている。	
	⑥重症者数	2人	1人	→		